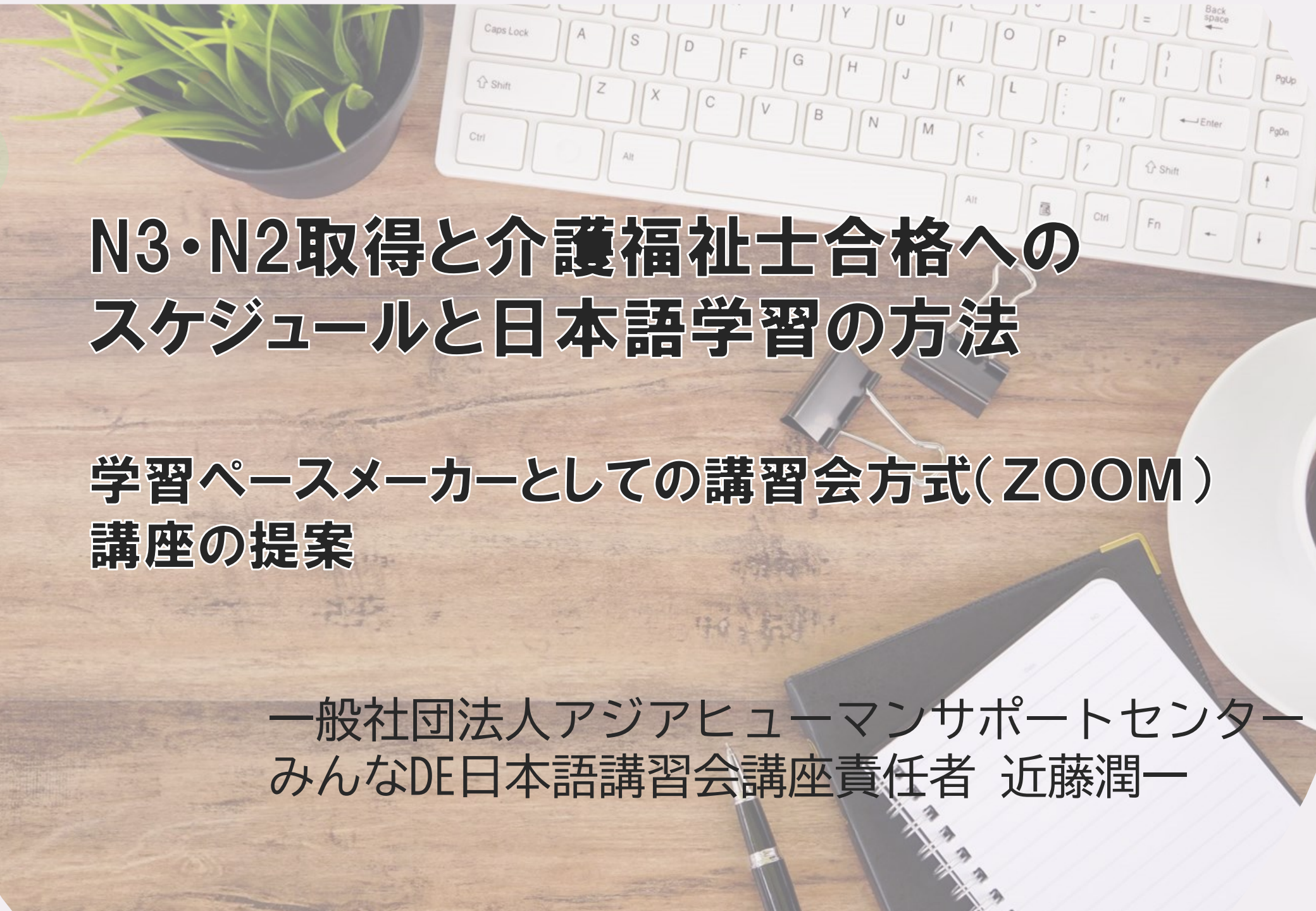




N3・N2取得と介護福祉士合格への スケジュールと日本語学習の方法

学習ペースメーカーとしての講習会方式(ZOOM) 講座の提案

一般社団法人アジアヒューマンサポートセンター
みんなDE日本語講習会講座責任者 近藤潤一

特定技能、技能実習生など様々なルートでいろいろな国から外国人の介護人材が入国しています。本日のセミナーにおいては、入職後の海外人材に、どのように日本語の学習をしてもらおうと良いのか？について 特定技能を中心にお話をすすめていきます。

①これから、海外人材の入職を検討中である。

②すでに、海外からの人材は入職している。

①②のどちらにでも対応できる内容となっております。さらに、特定技能以外のルートで入職されている場合でも参考にしていただけるとと思います。

特に最近では特定技能で入国してくる人材が多くなる

傾向にあり、特定技能において 現行では…

入職後、5年までに介護福祉士の資格を取得しなければ

継続しての日本での勤務は難しくなります。

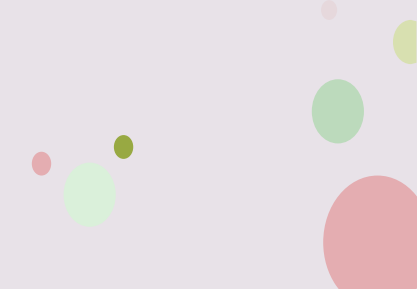
※今後、制度改革があるかもしれません。

できれば、介護福祉士をとって長く働いてもらいたい…



1. 事例で見る問題点

2. 日本語学習のすすめかた



特定技能人材は「**JLPT N4**」もしくはそれに相当する「**JFT BASIC A2**」試験と特定技能介護の「介護の日本語」と「介護の実技」(PCでのペーパーテスト)の合格が条件となります。

※JLPTとは、「日本語能力試験」のことであり、主催者は**国際交流基金**と日本国際支援協会です。

※JFT BASICとは、「日本語基礎テスト」のことであり、主催者は**国際交流基金**です。

JLPTはレベルテストでN5→N4→N3→N2→N1と上位級があり、JFT Basicテストは基礎力がどのくらいあるかを認定するテストだにご理解いただければとおもいます。

レベル	漢字数・語彙数・学習時間の目安	目 標
N1	漢字数 2,300 / 語彙数 10,000語 学習時間 900時間～1200時間	幅広い場面で使用される日本語が理解できる。政治、経済、法律、国際問題など抽象度が高く複雑な文章を理解し、様々な分野のニュースや講義が理解できる。専門用語を使い発表・討議ができる。
N2	漢字数 1,000 / 語彙数 6,000語 学習時間 600時間～800時間	日常的な場面で使われる自然に近いスピードのまとまりのある会話やニュースを理解することができる。新聞、平易な評論など論理的にやや複雑な文章を理解し、一般的な事柄について意見を述べることができる。
N3	漢字数 600 / 語彙数 3,000語 学習時間 450時間～600時間	日常的な場面で使われる自然に近いスピードの会話を、 ある程度 理解することができる。日常的な話題について具体的に書かれた文章の読み書きができる。
N4	漢字数 300 / 語彙数 1,500語 学習時間 300時間～400時間	基本的な日本語を理解することができる。基本語彙や漢字を使った身近な話題の文章を理解し、ゆっくりと話されれば日常的な会話を理解することができる。
N5	漢字数 100 / 語彙数 800語 学習時間の 150時間～200時間	基本的な日本語を ある程度 理解することができる。平仮名・カタカナ・基本的な漢字で書かれた定型文や表現を理解し、ゆっくり、はっきりと話されれば、平易な日本語を理解できる。

JLPT

N5

N4

N3

N2

N1

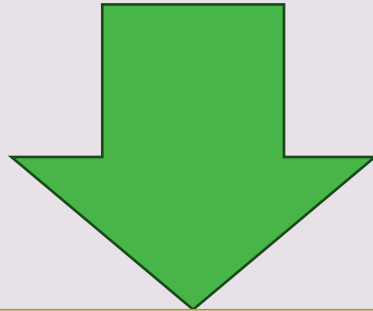
JFT

BASIC A2



JFT BASIC A2からすぐにN3では
漢字の読み・理解力が追い付かない場合も・・・

1年以上前は、コロナによって待機していたことにより
待機の時間を使って長時間日本語を勉強出来ていたのも、
日本語力も高い状態の人が多かったと思います。



最近では、日本での就業を目指して、試験に合格した後に
比較的早く来日できるため、日本語の勉強時間も
以前よりも少なく、日本語能力がコロナ明けの入国者に比べて
低い人が肌感覚で多いように思えます。

- JLPT N4では、全ての漢字に「ふりがな」がついていたので漢字が読めなくても合格できてしまいます。しかし、N3になると、そのふりがなが減るために 漢字が読めないと問題の理解が難しくなり、なかなか合格できない人も少なくないです。

(N3とN4の漢字ギャップ)

つまり、漢字の読み・書きをあまりしないで 試験に合格して来日した、海外人材（非漢字圏）が多いのも事実です。

- （漢字の読み書きを含めた）基礎力がないままに

N3を勉強、受験しても… もしかしたら まぐれで合格もあるかもしれませんが…

漢字を勉強しないで N 2 を合格することは絶対にありません！

そこで……

漢字の基礎力と 語彙（ことば）をもう一度

日本人教師の指導の下、もう一度復習することが大切！！

N3入門コース（N4復習コース）を設置しています。

■みんなでDE日本語講習会【入門コース】
（ZOOM利用によるグループレッスン形式）

期 間：2024年10月～2024年11月

学習時間：毎週2回（全16回分）

火曜日/金曜日20:00～22:00

（うち10分間休憩）

受講費用：20,000円（税込）/月額10,000円×2

教材費用：1,430円（税込）



海外人材の日本語学習～あなたの施設の海外人材は？

例1) インドネシア人 24歳 女性 JFT-A2合格
入職後1年が経過

施設様の悩み・・・

1年たっても会話力が上達しない。
会話がうまくできないことから本人も消極的で
日本語での会話をしたがない。



どうしてでしょう？ 皆さんならどうしますか？

N4レベルに合格しているので最低限の日本語はわかるはずです。
しかし、確認してみると「聞く」「話す」能力が低いことがわかりました。特に「聴解（聞く）」能力が低い＝正しく聞いていないため、話す力が伸びないのです。

海外人材の日本語学習～あなたの施設の海外人材は？

例2) ベトナム人 23歳 女性 JLPT N3 合格
入職2年半以上が経過

施設様の悩み・・・

N3は入職後1年で合格したが、N2は3回挑戦したがすべて不合格。今の日本語力では介護福祉士試験は難しいのではないか。

どうしてでしょう？ 皆さんならどうしますか？

N3にすんなり合格してしまい、先に先にと急ぐあまり、基礎の文法、漢字の読みの知識が不足していると考えられます。実際にN3の合格ラインは超しているものの100点、約55.5%の正答率で合格しています。



海外人材の日本語学習～あなたの施設の海外人材は？

例3) ネパール人 30歳 男性 JLPT N3 合格
入職1年半が経過

施設様の悩み・・・

N3は入職後1年で合格し、入職当初と比べてコミュニケーション能力（会話）は良くなったが、記録書はひらがなが多い。漢字の読みもあやしい。

記録を書けないとまかせられる業務に限られるのに・・・

どうしてでしょう？ 皆さんならどうしますか？

N3にすんなり合格してしまい、先に先にと急ぐあまり、基礎の文法、漢字の読み・書きの知識が不足していると考えられます。実際にN3にはぎりぎりの合格ラインである95点、約52.7%の正答率で合格しています。



日本語学習に必要なこと～言語習得の4技能～

× 日本にいれば話せるようになる

→ 来日して、日本に住んでいれば、日本語が上手になると良く耳にしますが、実際は例の様に、会話力がなかなか上達しなかったりします。言葉は日々の積み重ねで「覚える」ことが必要です。特に会話上達のためには聞いて話すことの繰り返しが必要です。

× 会話力があるので、読み書きもできるはず

→ 読む・書くためには日本語の「ことば」「漢字」の読み書きの練習が必要です。

言葉の数が増えなければ、一定の語彙数の使いまわしで話しているだけで上手に聞こえるが正しいです。

× 会話がうまくて覚えがいいから「介護福祉士」試験にも合格できる

→ 介護福祉士試験は日本語の読解力、理解力がなければ合格できません。N2レベルの日本語の力がないと合格は難しいと考えられます。

日本語学習に必要なこと～言語習得の4技能～

日本語に限らず言語を習得するためには4つの技能をバランスよく伸ばす必要があります。

インプット

書く

話す

アウトプット

読む

聞く



日本語学習のすすめかた

大切なことは2つです

1. 目標設定と学習計画

2. 分析と伸ばすための学習

目標の設定（例）

介護福祉士試験に向けて3年目までに日本語能力をN2レベルに引き上げる

入職1年目

7月

12月

N3入門コース

N3受験コース

N3
受験

入職2年目

7月

12月



N3
受験

N2受験コース

N2
受験

入職3年目

7月

12月



N2
受験

N2
受験

JLPT試験は年2回（7月、12月）

すでに入職して2年以上が経過・・・「介護福祉士」試験までにやるべきことは

- 日本語の学習に近道はありません。

毎日の勉強時間を確保して、まずは基礎力を高めること、その後でN3の勉強をしっかりと行うこと。

N3の試験が終わったら、すぐにN2に向けて勉強に取り組む。次のステップとして実務者研修、介護福祉士に向けた勉強にも取り組みます。

介護福祉士試験は実務経験3年以上＋実務者研修終了の条件を満たす必要があることから、特定技能1号での試験のチャンスは1回～2回程度となります。

※5年以内に試験に受からなければ、原則「介護」での特定技能1号は終了となり、帰国するしかありません。

介護福祉士取得～5年以上就業＝日本語の学習が必要です

- 介護福祉士試験に合格している人の多くはN2保有者です。
もちろん日本語のN2は必須ではありませんが、現実的にN2レベルの語彙力、漢字力、文法力がないと、介護福祉士試験に合格するのは難しいといえます。

施設の皆様のバックアップ＝教育支援が欠かせません

◆ オンライン等での日本語講習への参加をサポート

◆ 日本語講習の時間の確保への配慮

※たとえば、オンラインの講習が夜8時～であれば、オンライン講習のある日の夜勤は配慮する、日曜の講習であれば、出勤の調整をするなど

◆ 勉強しやすい環境の整備

オンラインの場合、多くはスマホで学習しています。学習のしやすさを考えると、施設で余っているPCや使わなくなったタブレット等を貸与することで、より学習がしやすくなります。

また、勉強机、安定したオンラインの環境などを提供していただくことにより、モチベーションを高めることにもつながります。

ある施設の取り組み

面接の段階で日本語の勉強意欲＝介護福祉士を目指したいという意思を確認
あわせて日本語の講習を受けることを条件として人材を採用



仕事をするうえでも日本語が上手になることがスキルアップにつながる、また介護福祉士をとれた場合のメリットを説明する（勉強する意識づけ）

Ex)夜勤の条件としてN3合格＋初任者研修
⇒夜勤手当とともにN3合格で給料を5,000円アップ



みんなDE日本語講習会を活用
（費用を施設で負担することで施設の研修という位置づけで日本語学習を行う）
※学習者の参加意欲・意識が高くなる

学習意識が高まる

⇒結果として語彙数が増え、日本語力の向上に

施設でも日本人と同じように仕事ができる人材として育つ

勉強を続けるために

みんなDE日本語講習会

週に2回（1回55分×2）

「ことば」「漢字」に力を入れた学習です

→日本語の意味を理解することに重点を置いています。

ただし、週に2回の学習のみでN3やN2に合格できるわけではありません。

週に2回の講座は予習→復習→確認・補足という流れの中で「確認・補足」を担います。
勉強のペースをつかみ、週に2回のオンラインで先生が確認すると同時に、勉強のペースメーカーとしての役割を担います。

従って、授業に出る際には日々の予習・復習を行っていることが前提です。

繰り返しになりますが「言語学習において近道はない」ひとつひとつの言葉（と意味）を理解する、使ってみる、書いてみるの積み重ねです。

みんなDE日本語講習会は学習者の理解度を確認し、より理解を深めるための授業を行い、JLPT日本語能力試験の合格を目指す講座になっています。

どうして日本語能力試験を目指すのか？

それは、何かしらの目標と到達点確認が学習のモチベーションにつながるからです。

■みんなでDE日本語講習会【入門コース】
(ZOOM利用によるグループレッスン形式)

期 間：2024年10月～2024年11月

学習時間：毎週2回（全16回分）

火曜日/金曜日20:00～22:00

（うち10分間休憩）

受講費用：20,000円（税込）/月額10,000円×2

教材費用：1,430円（税込）



授業スケジュール（2024年10月スタート）

火曜日授業	20:00～20:55	21:05～22:00	金曜日授業	20:00～20:55	21:05～22:00
10月1日	漢字第1回	語彙第1回	10月4日	漢字第2回	語彙第2回
10月8日	漢字第3回	語彙第3回	10月8日	漢字第4回	語彙第4回
10月15日	漢字第5回	語彙第5回	10月18日	漢字第6回	語彙第6回
10月22日	漢字第7回	語彙第7回	10月25日	漢字第8回	語彙第8回
11月1日	漢字第9回	語彙第9回	11月5日	漢字第10回	語彙第10回
11月8日	漢字第11回	語彙第11回	11月12日	漢字第12回	語彙第12回
11月15日	漢字第13回	語彙第13回	11月19日	漢字第14回	語彙第14回
11月22日	漢字第15回	語彙第15回	11月26日	漢字第16回	語彙第16回

■JLPT N3対策コース みんなDE日本語講習会（ZOOM利用：グループレッスン形式）
期間：2024年11月～2025年6月（テキスト学習6カ月＋テスト対策2カ月＝8カ月コース）
学習時間：週2回（全64回）火曜日/金曜日 20:00～22:00（うち10分休憩）
受講費用：88,000円（税込）/ 月額11,000円（税込）×8カ月
テキスト代金：5,390円

※N3（入門コース）より継続受講、及び受講費用8カ月分一括お支払いの場合は
特別に66,000円（税込）とさせていただきます。



■ JLPT N2対策コース みんなDE日本語講習会（ZOOM利用：グルーブレッスン形式）

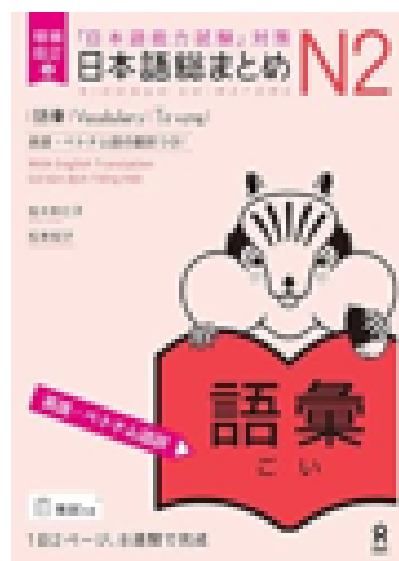
期間：2024年9月～2025年6月（前期5カ月＋後期5カ月＝計10カ月）

学習時間：週2回（全80回）月曜日/木曜日 20:00～22:00（うち10分休憩）

受講費用：110,000円（税込） / 月額11,000円（税込）×10カ月

テキスト代金：5,390円

※N3より継続受講、及び受講費用10カ月分一括お支払いの場合は
特別に88,000円（税込）とさせていただきます。



ありがとうございました。